



学校だより

横浜市立矢上小学校

6月号

発行日 令和2年6月1日

『(心の)手をつなぎ、笑顔いっぱい、矢上っ子』

校長 持尾 博之

長く続いた緊急事態宣言が解除され、横浜市の小学校も再開の日を迎えました。「いつも通り」とはいきませんが、“少しずつ”“あわてずに”子どもたちの心が学校生活のリズムを取り戻せるように、矢上小学校でも教育活動を再開します。ご家庭とも、地域の皆様とも連携を強化していくことで、「いつも通り」が取り戻せるものと信じています。お力添えをお願いします。

さて、今日から日吉台中学校区の近隣小学校と協議を重ねながら、分散登校を開始しました。学校ホームページでもご確認いただきましたように、段階を踏んで教育活動の再開を目指してまいります。分散登校の考え方をご説明します。

【第一期 6/1~6/12】

登校時間	学年	6月				
		月	火	水	木	金
8:10~8:25	3校時	登校				
	2校時	始業準備・健康観察				
	1校時	ABグループ	ABグループ	ABグループ	ABグループ	ABグループ
9:00~9:25	3校時	登校				
	2校時	始業準備・健康観察				
	1校時	ABグループ	ABグループ	ABグループ	ABグループ	ABグループ
10:10~10:35	3校時	登校				
	2校時	始業準備・健康観察				
	1校時	ABグループ	ABグループ	ABグループ	ABグループ	ABグループ
11:10~11:35	3校時	登校				
	2校時	始業準備・健康観察				
	1校時	ABグループ	ABグループ	ABグループ	ABグループ	ABグループ
12:10~12:15	3校時	登校				
	2校時	始業準備・健康観察				
	1校時	ABグループ	ABグループ	ABグループ	ABグループ	ABグループ

◆全児童が毎日登校し、生活のリズムをゆっくりと取り戻していくように考えました。

学年や学級を分けて、週に2回程度登校することも検討しましたが、短時間でも毎日の生活を積み重ねることで、よりスムーズに新しい生活のリズムに慣れていけると考えました。

◆少人数(学級の半数が教室に在室)のメリットを生かし、子どもたちの変化や不安をていねいに見とるように考えました。

毎日、学級担任が子どもたちの様子をていねいに見とり、声かけをする中で、臨時休業からくるストレスや不安などに、ていねいに寄り添うことが大切だと考えました。

◆ABグループが交互に登校時間を入れ替えることで、午前中の生活リズムをつくれるように考えました。

1週間ごとに、グループの登校時刻を設定することも検討しましたが、“8:25までには登校する”というリズムを取り戻すためには、週ごとの登校時刻設定よりも、交互に入れ替える方がよいと考えました。

◆ABグループの編成は、学級ごとに地域を配慮して行い、登下校時に同方面の友達が可能な限りいるように考えました。

分散登校の2週間は、登校班ではなく各自で時間内に登校します。安全を配慮して編成を行いました。登下校については、ご家庭の中でも可能な範囲で見守りや送迎などのご協力をお願いします。

◆午後の学年でのミーティングを大切に、子どもたちの学習不安にチームとして寄りそえるように考えました。

臨時休業中に「学習習慣が滞ってしまった。」、「内容がしっかりと理解できていない。」といったご相談を受けました。学年で学習進度を揃えながらも、どこに重点を置いて指導することが必要か、日々の学習の様子を見ながら話し合っていくことを重視しました。

本来であれば、子どもたちや保護者のみなさんにしっかりとお話しして、ご協力いただくところですが、文面での説明となりました。ご家庭でも分散登校の進め方を確認いただき、安全に登下校できるようにお声かけをお願いします。

学校生活の中では、「手をつないでなかよく…」「スクラム組んで協力しよう…」などと、よく言います。大切にしたい姿勢ですが、今は最初に「心の」という言葉を添えましょう。みんなの心をつないで新しい矢上小学校の生活様式を作り上げていきたいと思えます。本校の教育目標にも「心の」を添えると、今、私たちが目指す姿が見えてきます。

「(心の)手をつなぎ、笑顔いっぱい、矢上っ子」

